訓練 弟子たち 修行

セッション 26:弟子訓練のダイナミクス(11b)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **コリント人への第一の手紙 2:12**
12 今、我らは世の霊を受け取っていない。
しかし、神から来た御霊は、
神が私たちに無償に与えてくださったものを理解できるように.

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* - **コリント人への第一の手紙 2章**
リンク: https://www.biblegateway.com/passage/?search=1%20Corinthians%202&version=ESV

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. **瞑想**これは、神とその言葉(イエスと聖書)への愛をもって思索と献身によって行われます。聖書の言葉や「イマヌエル」――神が私たちと共におられる)のような概念を使うこともできます。

二. フィリップスは、瞑想は私たちの力である神に心を集中させるものだと言います。恐れにとらわれることは心配や不安を招きますが、愛に満ちた父神とその力について瞑想することは、神の召命/使命への服従を生み出します。

三. 覚えて黙想すべき重要な箇所はピリピ人への手紙4章6～7節です。これは私自身40年以上にわたり助けになっています。

四. **教育**:私たちは他者が教えたことを教え、すべての人をキリストにおいて完全なものとして提示できるようにするために、他者に教えなければなりません。

五. 著者は、弟子たちがキリストにおいて成長するのに役立つ教義の原則を体系的に教えなければならないと述べています。

ステップ5: *本書の内容を読み、議論してください:*
著者による第11章b(キース・フィリップス):

瞑想

瞑想とは、神への意識、すなわち思索と献身を通じて神への絶え間ない意識を目指すことです(詩篇1:2)。それは神の言葉への愛の自然な結果です(詩篇119:47)。瞑想は神の御前であなたを孤立させ、神の中にしか見いだせない平安、信頼、安らぎをもたらします。

ある夜、私が中西部にいたとき、メアリー・ティーセンがロサンゼルスから電話をかけてきました。ギャングのメンバーの中には、彼女をレイプし殺すと脅す人もいました。私はすぐに家に帰り、彼女を慰め、守りたいと思いましたが、それは不可能でした。そこで私は、イマヌエルの言葉「神が私たちと共にありますように」を黙想することで、しばしば平安を得たと彼女に伝えました。私はマリアにも同じことをするよう励ました。マリアはこう語ります。「その後数日間、何度もイマヌエルのことを考え、ついに平安を経験しました。そして今、私たちが危険にさらされているときでさえ、イマヌエルについて黙想することで、心の平穏と自信が生まれます。」神の言葉についての思索は、エレミヤの苦々しさと孤独を喜びへと変えました(哀歌3:18-23)。私たちは神の言葉を黙想し、「すべての聖人とともに、その広さ、長さ、高さと深さを理解し、知識を超えるキリストの愛を知ることができるように」とします。(エペソ人への手紙3章18節、19節)

弟子に、自分の恐れや状況にとらわれることは心配や不安を招き、瞑想は神に心を向けることを教えてください。神は神の力です(詩篇46:1)。私たちは自分の考えに深く影響されるため、瞑想は従順(詩篇119:15)と喜び(エレミヤ15:16)をもたらします。暗記した一節を黙想してください。弟子と一緒に瞑想を始めるのに役立つ二つの方法を提案しましょう。

1. 節についていくつか応用に関する質問をする:
この節は神について何を教えているのでしょうか?この節は他にどんな真理を教えているのでしょうか?やめるべき習慣や始めるべき実践はありますか?

2. 覚えている一節を何度か声に出して繰り返します。そのたびに、異なる単語やフレーズを強調してください。例えば、ヨハネ15章16節には「私はあなたを選び、実を結ぶように選んだ」「私はあなたを選び、実を結びますように選びました」「私はあなたを選び、行って実を結ぶように選びました」「私はあなたを選び、実を結びますように行くために選びました」

この聖句にそれぞれの強調がもたらす真実と新たな洞察をお楽しみください。お互いに思いを共有しましょう。

教育
キリストは弟子たちに「わたしがあなたに命じたすべてを守ること」を人々に教えるように命じました。パウロは「神の全目的」を教えました(使徒20:27)。彼は「私たちはすべての人を戒め、すべての人をすべての知恵をもって教え、すべての人をキリストにおいて完全なものとして提示するために、主を宣告します」(コロサイ人への手紙1章28節)。

弟子に聖書を教えてください。
イエスが「聖書を理解するために彼らの心を開き」(ルカ24:45)後、弟子たちに「わたしの子羊たちに餌を与えなさい」(ヨハネ21:15-17 KJV)と命じました。「生きていて能動的な」神の言葉ほど栄養を与えるものがあるでしょうか(ヘブル人への手紙4:12参照)。ここで神はご自身とその御心を人に示してください(箴言2:1-5)。詩篇の作者と同じ期待を持って言葉に近づきなさい。「わたしの目を開けよ。そうすれば、わたしはあなたの律法から素晴らしいものを見ることができる」(詩篇119:18)。あなたの教えは正確で実践的でなければなりません。弟子がキリストにおいて成長する助けとなる聖書の原則と教義を体系的に教えてください。彼は聖書の真理を一貫して適用するために、実践的な聖書の知識を持っていなければなりません。イエスは卓越した伝道者でした。彼は権威をもって教え(マタイ7:29)し、人々は「主の話を聞くのを楽しんだ」(マルコ12:37)と言いました。中には「...主が私たちに語りかけている間、私たちの心は燃えていたのではないか.....」「彼が私たちに聖書を説明してくださっている間に?」(ルカ24:32)

弟子の学びを刺激するためには、十分な準備をし、以下の教えの原則を守る必要があります。創造的であれ。イエスは、形式的なメッセージとカジュアルな会話を巧みに組み合わせました。彼は講義と議論の両方を行い、コイン、ユリ、種、土といった実際の例を用いて深い真理を示しました。弟子たちは、イチジクの木を呪ったとき(マタイ21:19)キリストが力と信仰について教えてくれたことを、どうして忘れられるでしょうか?

多様性は興味を保つのに役立ちます。本と時事研究を交互に行ってください。定期的に集まる場所を変えましょう。時には弟子に教えてもらいましょう。そうすることで、彼は原理をより深く理解し、他の人に教える力も身につけます。また、彼の教材理解度を評価することもできます。学ぶ際に弟子を巻き込みましょう。彼は講義を聞いたり、一人で勉強しようとするよりも、一緒に学ぶことで学ぶことができます。聖書の原則を引き出し、一緒に実践的な応用に関わるようにしましょう。彼は、あなたが教えていることに対して、あなたが期待するのと同じくらい熱心であることを彼に見せる必要があります。

重要な教訓や原則を繰り返し伝えてください。パウロはこう言いました。「...同じことをもう一度書くことは私にとって何

の問題でもありませんし、あなたに対する安全でもあります」(ピリピへの手紙3章1節)。ペテロは宣言しました。「ゆえ、たとえあなたがたがすでに知っているとしても、私はいつもあなたにこれらのことを思い出させる準備ができています……」(ペテロ第二 1:12)柔軟であれ。弟子の差し迫ったニーズに応えることと、教え方を固定した戦略を持つこととの間で繊細なバランスを取る必要があります。これは、その日の教えの原則を弟子の必要に適用することでしばしば可能です。

pp. 121-124a

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いのために祈ります。*

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から改訂なしで引用しています。

改訂20261123